

貧酸素水塊速報 (2016年)

【発行】 ○ 千葉県水産総合研究センター
 ○ 神奈川県水産技術センター
 千葉県農林水産技術会議
 内湾底びき網研究会連合会

【協力】 ○ 千葉県環境研究センター
 第三管区海上保安本部
 ○ 東京都環境局
 (国)国立環境研究所
 ○ モニタリングポスト(海上保安庁, 国土交通省 関東地方整備局)
 (今回の速報は“○”の機関の観測データを使用して作成しました)

平成28年6月20～21日観測結果

貧酸素水塊は、内湾北部から川崎沖にかけて分布しています。一部の海域では、溶存酸素量が1.0ml/L以下の強く貧酸素化した水塊も見られています(図1)。

縦断ラインの鉛直分布から、貧酸素水塊の厚みは6月上旬に比べ増加しましたが、依然として直近10年の平均を下回っています(図2, 3)。

内湾北部を中心に赤潮が発生しています。

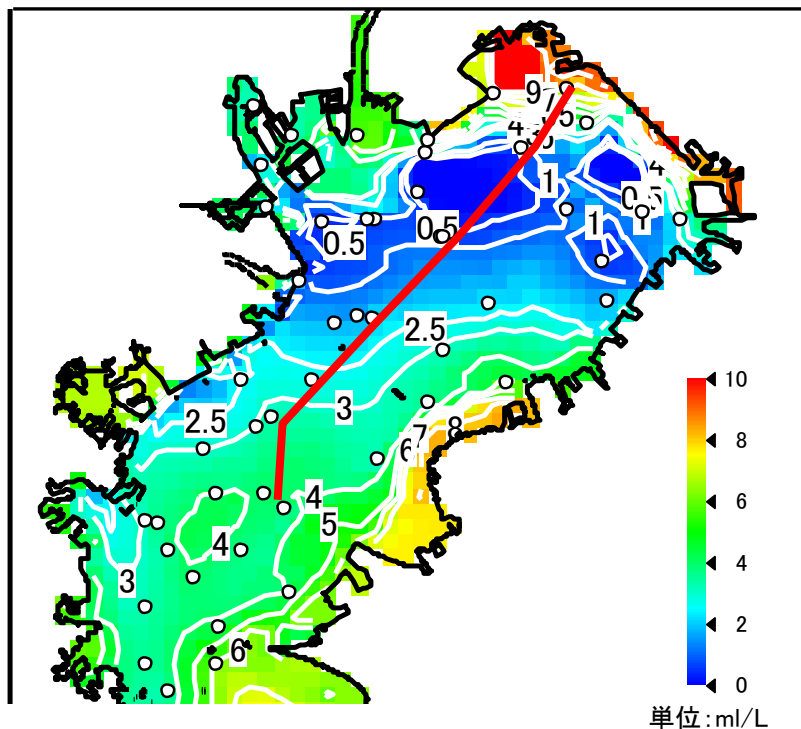


図1 底層の溶存酸素量分布(赤線は縦断ライン)

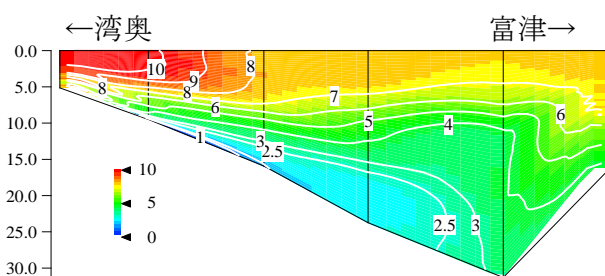


図2 縦断ラインでのDO鉛直分布

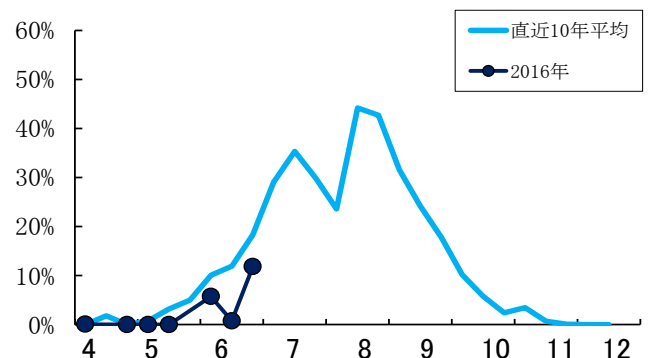


図3 貧酸素水塊の規模

(左図で貧酸素水塊(2.5ml/L以下)が占める割合)